

● 内政

1 大統領、北部コッパーベルト州で演説中に投石される

ヒチレマ大統領は、コッパーベルト州チンゴラで火災被害を受けた市場を慰問のために訪問した。住民に対して演説を実施し始めた直後、幾人かの暴徒が大統領に対し投石をし、政府関係車両を放火するなどして逃走した。ヒチレマ大統領は演説を中断して避難し、後日軍による鎮圧ではなく警察による通常の犯罪捜査が実施され、数名の容疑者が逮捕された。当該事件を受け、独立紙 News Diggers は、違法採掘の取り締まりをヒチレマ大統領が進める中で、違法鉱夫に対するケアが不足しており、鬱屈した不満がこのような形で噴出したと分析しており、違法鉱夫をフォーマル化する改善策実施を提言している。（11月9日付 News Diggers ほか）

2 与党 UPND 関係者が野党 PF 事務所を襲撃

11月15日、与党 UPND 関係者と見られる集団が、野党 PF 事務所を襲撃し、これにより数名の負傷者が発生するとともに物品の盗難が発生した。与党 UPND 関係者は犯人を明示的に非難し、犯人を逮捕するよう法執行機関に訴えるとともに、罪状が確定し次第、追放する意を表した。この襲撃は項1で記載した大統領投石事案発生直後に、与党国民議会議員が党派主義の復活を呼びかけ、UPND 党員に対して自警行為を呼びかけたことに起因すると見られ、野党のみならず与党幹部も当該行為を非難している。人権委員会は当該事案を強く非難し、法執行機関に適切な対応を求めた。独立紙 News Diggers は、与党 UPND が党員を擁護しない姿勢は稀有で誠実なものと評し、大統領の暴力非難や党員に対する厳しい姿勢を認めつつも、与党 UPND 起因の暴力事案の増加・発生を非難し、更なる対応を求めた。（関連報道まとめ）

3 野党党首代行、与党関係者に誘拐される

11月19日、与党 UPND 関係者と見られる集団によりルサカ市近傍都市で野党 PF ルビンダ党首代行が誘拐される事案が発生した。同都市の与党 UPND 役員は、野党による不法集会を取り締まつたと公に発言。ルビンダ氏は同日内に警察によって保護されたが、副大統領、内務・国内治安大臣、UPND 副事務総長らは当該事案の発生及び関係者を強く非難し、適正な法執行機関による捜査及び罰則を求めた。警察捜査により後日、7名の容疑者が逮捕された。（関連報道まとめ News Diggers）

4 人権委員会、多発する政治関連暴力事案に強く懸念を表明

当地人権委員会（Human Rights Committee）事務局長は、最近のザンビアでの政治的暴力（大統領への投石事案、PF 事務局襲撃）について強い憂慮を表した。法執行機関に対しては適切な対応、政党に対しては党員のコントロール、懲戒処分を適切に実施するように要請した。（11/22 News Diggers）

5 鉱山・鉱物開発相、違法採掘対策に軍を動員する事を発表

カブスウェ鉱山・鉱物開発大臣は、国内で多発する違法採掘について、12月1日以降各地域へ軍を動員し、対応にあたると発表した。違法採掘従事者に対しては、①協同組合を結成し、正式な研修を受けて合法的な採掘を行うか、②聞き入れない場合は武力で排除されることを明示し、安全で合法的な採掘に転換することが大統領の意志であるとし、対処を求めた。（11月24日付 News Diggers）

6 大統領、憲法改正の利害関係者へ対話を呼びかける

11月23日、ヒチレマ大統領は野党関係者や市民団体などが11月28日に憲法改正に反対する抗議デモを計画していることに関連し、利害関係者に対し同日に大統領府を訪れ、解決志向の対話をするよう呼びかけた。同呼びかけを受け、市民団体は抗議活動の呼びかけを中止し、対話を実施することとした。(11月24日付 News Diggers)

7 与党事務総長、150名を超える党員の除名を発表

与党事務総長は、150名を超える与党党員に対し、不法行為への関与などを理由として除名処分を宣告した。主な罪状としては、選挙人登録事務所での妨害行為、市民への恐喝・暴力行為、公共設備の資材窃盗などが挙げられ、事務総長は同様の行為に対して法執行機関の適切な取り締まりを求めた。(11月29日付 News Diggers)

● 外交・対外関係

1 大統領、タンザニア大統領の就任式へ参加

11月3日、ヒチレマ大統領はタンザニアを訪問し、ハッサン大統領の就任式へ参加した。今次出席は地域内経済的協力強化について、ザンビアの継続的取組を示すものであり、物流・サービス提供のためにパートナー国や交通回廊との連携が不可欠と評した。また、大統領は式典の中で、平和・安定・対話こそが持続的発展の礎であるという信念を改めて表明し、地域内協力の重要性を説いた。(11月3日付 大統領 Facebook)

2 大統領、SADC首脳会合へ参加

11月7日、ヒチレマ大統領は、オンライン開催されたSADC首脳会合へ参加した。会合では、マダガスカルの情勢悪化に関する事項が議論された。(11月7日付 外務・国際協力省 Facebook)

3 イスラエル大統領、ザンビアを訪問

11月10日から11日にかけ、イスラエル・ヘルツォグ大統領はザンビアを訪問し、ヒチレマ大統領と会談した。会談では農業、エネルギー、水問題、教育、研究開発、観光、鉱業分野について協力拡大が議論されるとともに、中東和平について意見が交わされた。(関連報道まとめ)

4 大統領、ジンバブエを公式訪問

11月14日、ヒチレマ大統領は、ジンバブエを公式訪問した。ジンバブエ・ムナンガグワ大統領と二国間国家委員会で同席し、両国の関税問題やジンバブエに対する経済制裁のあり方などについて意見が表された。(関連報道まとめ)

5 大統領、米国大統領子息と面会

11月16日、ヒチレマ大統領は、当地をプライベート訪問中の米国トランプ大統領の息子であるトランプ・ジュニア氏と面会した。面会の中では米国とザンビアの関係強化について意見が交わされた。(11月16日付 大統領 Facebook)

6 米国、ザンビアの保健医療へ15億ドル支援

11月17日、当地を訪問中の米国政府「グローバルヘルスセキュリティと外交チーム」は、2026年から2030年にかけて、ザンビアの医療システム改革に15億ドルを支援する事を表明した。支援はHIV、結核、マラリアを中心とした疾病負担軽減、医療体制強化、地元製造業支援、パンデミック対策などが柱となり、2030年以降はザンビア政府が自己資金で運営することを目指している。(11月18日付 News Diggers)

7 大統領、米国国務長官と電話会談

11月17日、ヒチレマ大統領は、米国ルビオ国務長官と電話会談を実施した。会談では、民間投資拡大を通じたザンビアの経済転換支援、医療システム改革などについて意見が交わされた。

(11月17日付 大統領 Facebook)

8 中国首相、ザンビアを訪問

11月19日から20日にかけて、中国・李強首相はザンビアを訪問し、ヒチレマ大統領と会談した。会談では両国の関係強化について議論がされた。また、滞在中 TAZARA 鉄道リハビリ計画の起工式が実施され、タンザニアからは副大統領が参加した。(関連報道まとめ)

9 ハインベ外相、EU-AU サミットへ参加

11月24日から25日にかけ、ハインベ外務・国際協力大臣はアンゴラで開催された EU-AU サミットへ参加した。スピーチでは、国連安保理改革の早急な実施を求めるとともに、国際金融システム改革や気候変動対策への協力を求めた。(関連報道まとめ)

(了)